

令和6年宇治田原町議会活性化特別委員会

令和6年9月10日

午前10時59分開議

議 事 日 程

日程第1 中学生議会について

日程第2 その他

1. 出 席 委 員

委員長	3 番	馬 場 哉	委員
副委員長	7 番	藤 本 英 樹	委員
	1 番	山 内 実貴子	委員
	2 番	榎 木 憲 法	委員
	4 番	森 山 高 広	委員
	5 番	山 本 精	委員
	6 番	宇佐美 ま り	委員
	8 番	今 西 利 行	委員
	9 番	上 野 雅 央	委員
	10番	原 田 周 一	委員
	12番	浅 田 晃 弘	委員

1. 欠 席 委 員 なし

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事 務 局 長	西 尾 岳 士 君
庶 務 係 長	重 富 康 宏 君

開 会 午前10時59分

○委員長（馬場 哉） 皆さん、予算特別委員会に引き続き、大変ご苦労さまでございます。

本日は、議会活性化特別委員会を招集いたしましたところ、委員の皆様にはご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日は、「中学生議会」について協議いたしたいと思います。

本日の委員会において、不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

ただいまの出席委員数は11名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の議会活性化特別委員会を開催いたします。

会議は、お手元に配付しております会議日程及び資料等により進めさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

日程第1、「中学生議会について」でございます。

皆さん、お配りしております資料をご覧いただきたいというふうに思います。

ここに中学生議会の開催要項（案）というのがありますので、ご覧いただきたいと思います。

これにつきましては、昨年度も実施をいたしまして、中学生の方々から、また維孝館中学校の校長先生または学校関係者の方々からも大変有意義であったというアンケート結果を含めて、有意義であったというお話があり、また皆様にもアンケート等々をお示しさせていただいて、来年度以降も開催してはどうかということでご意見を頂戴したところでございまして、それを私、委員長と副委員長と事務局と維孝館中学校のほうに、本年度につきましても引き続きお世話になりたいということで、事前に、一度調整をさせてもらいに行きました。

その調整で、学校側の都合もございまして、学校側の都合が明確になってから皆さんにお伝えしなければならないということで、今回、学校側のご都合で大体日程等々が決まりましたので、皆さんにお知らせをするという意味合いで、この会議を開催させていただきました。

資料をご覧いただきたいと思いますが、目的につきましては、まちづくり授業

を経験する予定の維孝館中学校の３年生の方々に、その後、議会を見学していただきますとともに、議員となって質問をすることにより、地方自治の仕組みを理解し、宇治田原のまちづくりを考える場とすることをございます。いわゆる主権者教育について議会が取り組むという、そういう趣旨でございます。

主催は、議会の中の議会活性化特別委員会で行います。

日時につきましては、令和６年12月19日木曜日、午前10時から午前11時55分。

場所につきましては、宇治田原町役場の３階の議場ということです。

対象につきましては、維孝館中学校３年生、本年度も２クラスで、各30名ほどが在籍をされておられます。

内容につきましては、ここに記載しておりますとおり、開会の挨拶から始まりまして、昨年度も実施いたしましたように議長室並びに議場の見学、それから町政全般に関する質問を１クラス４名で、ここに１回のみと書いていますけれども、基本的に１回のやり取りのみで、中学生からの質問につきまして、議員が答弁をするという、昨年度も実施をした内容でございます。

それから模擬表決ですけれども、中学生の方々に表決の電子採決について体験をしてもらう、昨年度もやりましたけれども、この内容でございます。

それで、閉会の挨拶を副議長にいただきまして、この日の一連の内容が終了ということになります。

その他でございますけれども、開催日の12月19日までに、中学生に議会のほうから出向き、中学生議会の内容等々を説明する出前授業を実施するということとございます。

時間については、10時から１クラス、11時から１クラス、大体、この時間割の間で実施したいと思います。

生徒さんの送迎につきましては、町マイクロバス、昨年もしましたけれども、マイクロバス及び町のワゴン車により、教育委員会の職員さんにもご協力をいただいて、送迎をしたいと思います。

議長室及び議場の見学については、生徒さんは議員と傍聴に分かれて、議員のうち、代表４名様が一般質問席から質問を行って、議員が議席より答弁を行うと。これは、議員の皆さんも体験していただいたとおり、昨年と同じでございます。

12人の中学生の議員様が仮想議案に対して電子表決により表決ボタンを押していただくというふうにしたいと思います。昨年度につきましては、ボタンを押された方、生徒さん以外にもそれに参加しなかったという声がたくさんあったんですけれども、全員が

参加してもらうのは大変ですので現状の段階では12名の議員さんに体験をしてもらうということです。

それから、中学生以外、関係者以外の一般の住民さん等々につきましては、3階及び1階のロビーのモニターで中継を行いたいと思います。

参考ですけれども、6年度の出前講座、議会のほうから中学校へ出向く出前講座を11月29日金曜日、10時20分から11時10分の間で実施してほしいという、中学校のほうからこういうご要望がございますので、ここに記載をさせていただいております。

皆さん、ご存じのとおり、この12月19日ですので、次の議会中の開催ということになりますけれども、スケジュール的にも、今回、こういうふうに開催をしたらどうですかということを決めさせていただいて、次の議会さんのほうに申し送りをしたいということで、今回、お諮りをさせていただくことになりましたので、議員の皆様のご意見等がございましたら、この時間にご発言を願いたいと思います。

いかがですか。ございますか。今西委員。

○委員（今西利行） 毎回、私申し上げているんですけれども、答弁が議員ということで、ほかの市町をちょっと見てみますと、理事者が答えているところもございますね。だから、私は前から言っているように、それが普通じゃないかと思えますし、答弁の中身によってはもちろん議員が答えたらいいんですけれども、なかなか答えにくい場合もあるので、できたら理事者のほうで答えていただけたらすっきりするかなと、この意見です。

○委員長（馬場 哉） 今の今西委員の答弁を求めておられないので、ご意見を頂戴したんですけれども、この宇治田原町の中学生議会については、議会が主権者教育の一環で中学生議会を開催しておりますので、もちろん行政当局のほうがこういう取組を主権者教育の中でされるのであればいろいろやり方もあると思うんですけれども、現状は、議会が主権者教育の一環でこれを開催するということですので、今ありました理事者が発言されたらどうかという点については、議会のほうが中心になってやっておりますので、その答弁につきましては議員が今までの、いわゆる議論の流れと事前に答弁については行政当局の方々をはじめ、こういうふうな質問に答えていいですかという調整をしますので、その範囲の中で、できる範囲でやっていくべきやというふうに、私、委員長としては考えております。

ほかにございませんか。原田委員。

○委員（原田周一） これは1つ確認なんですけれども、5番の対象のところを見ますと、3年生2クラスということで、各30名程度と書かれているんですが、今、1クラス何名

いはるのか、私ちょっと分からないんですけども、これは各30名程度ということは全員じゃないという理解でいいんですか。3年生。2クラスでそれぞれ各30名程度ということは、3年生が1クラス30人全員じゃないということか。今、何人いはるのか、ちょっと分かんないですけども。

○委員長（馬場 哉） ちょっと暫時休憩します。ごめんなさい。

休 憩 午前11時10分

再 開 午前11時10分

○委員長（馬場 哉） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

今、原田委員のほうからご質問ございました中学校の3年生が2クラスあって、1クラス30名ぐらいで2クラスで合計60名という、そういう意味合いで、今学校のほうとは調整をさせていただいておりまして、3年生のクラスの中にも山茶花クラスに所属されている生徒さんもおられるということで、そこは中学校の教師の先生の方々とその生徒さんにも参加していただきたいということで、現状、調整をしているというところでございます。よろしいですか、それで。

○委員（原田周一） その辺、私、構成がよく分かんないんであれなんです、要は授業の一環としてやるのであれば全員やと思うんです。だけど、そこでこういう、この書き方で各30名程度と書いてあるんで、何か希望者だけ、じゃ残りはどうすんねやというように私理解したもんです、そのあたりがどうなってんのかなという意味でお尋ねしたんですけども。

○委員長（馬場 哉） 今のご意見ですけども、各30名程度ということで、そういう書き方になっていきますけれども、今、私どもが申しあげました山茶花クラスの生徒さんもいるので、1クラス29名とか28名とか、確定していないので1クラス30名程度いらっしゃるということで、基本的に授業の一環ですので、全生徒さんが参加されるという、そういう理解でお願いしたいと思います。原田委員。

○委員（原田周一） 要は、だから、基本は全員ということですね。

○委員長（馬場 哉） もちろん。

○委員（原田周一） 基本は全員ということで、そこにいろんな事情で参加できない人がおるから、こういう書き方したということの理解でいいんですね。

○委員長（馬場 哉） そうでございます。

○委員（原田周一） いや、私はもっと30名以上でクラスおって、それで30名に選抜するのかなと思っていたんで。それで理解できました。

○委員長（馬場 哉） ほかにございませんか。浅田委員。

○委員（浅田晃弘） 6番の（1クラス4名・1回のみ）で括弧書きのところですけども、この開催要項の中で1回のみと決めつけるのはいかなもんなかなと思います。やっぱり議員として、納得でけへんことはまた質問するやろうし、ちょっとこっちで決めつけんのはいかなもんなかなと思いますし、1回のみは削っておいたらええのかなと思います。

去年のアンケートなんかでもうまいこと答えていただいたんで、する必要なかったというようなアンケート調査もありましたんで、もうなしでええんと違うかなとは思いますが。以上です。

○委員長（馬場 哉） 今、浅田委員のほうからご意見も頂戴しまして、皆さんもご存じやと思いますけれども、前年度につきましては、生徒さんは1回だけになっていましたが、基本的には、議会としては、今、浅田委員がおっしゃったみたいに議員役である生徒さんが納得されるまで質問を続けていただけたらいいということで、当然、打合せはできませんけれども、議員さんのほうがそれぞれオリジナリティを発揮されまして、答弁をしていただければいいということで、ここ1回のみという記載につきましては、浅田委員がご提案のとおり削除したいというふうに思いますので、それでよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） じゃ、それ削除するというので、ここは消させてもらいます。

ほかにございませんか。森山委員。

○委員（森山高広） 先ほど削除されるということで、去年とか一昨年は2回目以降、誰が答えるというか、議長さんとかが答えるという話になっていたような気がするんですけども、今年はどうされますか。

○委員長（馬場 哉） その2回目以降の質問につきましては、昨年度も前年度につきましても副議長さんであるとか、いろんな、一番前列に座っている人が質問内容について手分けをするという、臨機応変にやるということで決めていたわけですけども、実際問題なかったんですが。そこについては、新年度の議員さんで、またこういう会議をされると思うので、そのときに詳細を決めていただければいいかなというふうに思いますので、現段階では中学生さんの日程の確定もありますので、今年度も12月19日に実施したいという旨について宇治田原町の議会のほうから中学校のほうに要請をするという段階で、日にちと内容については確定をしてもいいですかという、その部分をお諮りして

いるので、その確定については今議会のこの委員会で確定をしていただきたいというふうに考えているところです。

○委員（今西利行） たしか2回目も私、山内さんと、だからある程度スムーズに進めるためには2回目あるんだったら事前に、もし話できるんやったらしたほうがスムーズにいくと思うので、そこはちょっと配慮したらいいかと。以上です。

○委員長（馬場 哉） その点のご意見は来年度、議会さんのほうで考えていただくと、そこは申し送りしたいと思います。

ほかにございませんか。榎木委員。

○委員（榎木憲法） ちょっと日程に関わることなんですけれども、12月というのは本会議定例会もある中で、かつ自分の一般質問のこともせんなんあかんわ、生徒のことも、答弁もせなあかんわで、その辺のことも吟味されての19日だと思うんですけれども、その辺ことはやっぱり検討はされた中でのことでしょうね。その辺のこと何か、経緯などありましたら、ちょっとお話し願いたい。

○委員長（馬場 哉） それについては、委員長、副委員長と事務局長のほうで中学校のほうに打合せに行ったんですけれども、中学校のほうの学校の校長先生もいろいろ考えていただく中で、生徒さん中心に考えると受験もあり、いろんなこと、主に受験の日程なんですけれども、受験のことを考えてあげると、もう2月、3月というのは受験の真ただ中でございますので、もうできるだけ早くしたいという校長先生のご意見でございました。中学校も期末テスト等々もこの時期にあって、議会としては大変忙しいところで、忙しい時間帯というか日程なんですけれども、そこは3人で話したときに、もう学校さんの日程を優先しますということで、議会としては大変ですけれども、この日程で学校側が決めてくれはったので、そこは議会のほうが多忙な中でも対応すべきやなというふうに考えて、これで決定をさせていただきました。榎木委員。

○委員（榎木憲法） 去年は11月だったんですけれども、今年は議員の改選の関係でやっぱり11月にできないから12月にずれ込んだんだらうと。だから、その辺のことも加味されての決められたことなんだろうというので、お互いにみんな頑張りましょうという意見です。以上です。

○委員長（馬場 哉） ほかにご意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ないようでございますので、中学生議会については終了したいと思います。

日程第2、その他について、何かございましたらご発言願います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(馬場 哉) ないようでしたので、これで議会活性化特別委員会を終わります。

本日はご苦労さまでございました。

ありがとうございました。

閉 会 午前11時20分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

議会活性化特別委員会委員長 馬 場 哉